

令和 3 年度学校評価(年間評価)

学校名 大分県立聾学校

前年度評価結果の概要 「大分県スタンダード」と「一人三実践」の取り組みを進め、わかる授業の徹底を図るよう授業公開や研究授業により授業改善を進め専門性の向上に努めてきた。授業改善の意識は高まっているが、ICTの活用や主体的・対話的で深い学びについての取り組みが十分でなく、「授業が分かりやすい」と感じているの評価が低くなっている。安心・安全で信頼される学校を目指すため、警備・防災計画、避難訓練の見直しや医ケア・緊急対応訓練、給食等の危機管理体制の見直し改善に努めてきた。今後も安全で信頼される学校づくりに向け努めたい。

学校教育目標 聴覚に障がいのある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、学校組織として一貫した教育を行うことにより、確かな学力と豊かなコミュニケーション力の向上を図り、様々な人々と関わりながら社会参加していく態度・習慣を養う。
中期目標 (1) 個別の指導計画を活用し、一人一人の教育的ニーズについて共通理解をした実践を行う。(2) 各学部間や寄宿舎との連携を強化し、幼稚部から高等部までの一貫教育を推進するとともに、安心・安全な学校づくりを推進する。(3) 本校に勤務するすべての教職員が、必要な知識・技能及び手話力を身に付け、教育(相談)活動を充実させる。
重点目標 ○分かる授業の徹底(主体的・対話的で深い学びの実現)
○安心・安全で信頼される学校
○効果的な教育活動を行うための働き方改革の推進

Table with 8 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL SL, 自己評価結果 (評価, 分析・考察), 次年度の改善策, 学校関係者評価. Contains detailed data for three main goals: understanding lessons, safety, and effective education activities.

総合評価 次年度への展望等 「大分県スタンダード」と「一人三実践」の実践により、わかる授業の徹底を図るよう、授業改善を進めた。授業公開や研究授業の実践により専門性向上に努めてきた。ICTについては、効果的な活用方法についてさらに工夫を重ねていきたい。職員アンケートでは「主体的・対話的で深い学びにつながる授業ができている」という項目に対する評価が低いことから、次年度は研究授業や互見授業を通してさらに研修を深めていく必要がある。安心・安全で信頼される学校を目指すため、警備・防災計画や避難訓練の見直しや緊急時対応訓練、給食等の危機管理体制の見直し改善を行ってきた。新校舎における各種マニュアルの見直しにも取り組んでいる。今後も安全で安心される学校づくりに向け努めたい。ノー会議デー・ノー残業デーの設定や計画年休の実施などにより働き方改革を推進した。学部間の連携や会議の在り方の見直しにより、効率的な業務改善を進めていく。